

かぶミキモト真珠島。

MIKIMOTO
PEARL
ISLAND



1



真珠博物館



2



御木本幸吉記念館



3



パールプラザ



4



海女スタンド



INFORMATION

営業時間

1月～3月、11月 8:30～17:00
4月～10月 8:30～17:30
12月 9:00～16:30 (12月第2火曜日より3日間休業)
※季節により変動あり

入場料金

大人 1,650円 小・中学生 820円
※障害者割引あり
一般団体 (20名様以上) 大人 1,320円 小・中学生 660円
学生団体 高校生 770円 中学生 550円 小学生 440円
※引率の教職員は無料

駐車場

普通車 600円 / 2時間 (1時間延長ごとに200円)
バス (要予約)

アクセス

JR・近鉄 鳥羽駅下車 徒歩約5分



●公共交通機関をご利用の場合

東京	新幹線約1時間50分	名古屋	JR快速みえ約1時間40分	鳥羽
京都	近鉄特急約2時間20分		近鉄特急約1時間30分	
大阪	上本町から近鉄特急約2時間			

●お車をご利用の場合

東京	東名高速 230km	浜松I.C	R1・浜名バイパス R42 81km	伊良湖	伊勢湾フェリー 55分	鳥羽
名古屋	東名高速 95km	名古屋I.C	東名阪 28km	名古屋西I.C		
京都	名神高速 14km	草津J.C.T	新名神 51km	亀山J.C.T	東名阪 48km	
大阪	西名阪自動車道・名阪国道 120km	伊勢I.C	伊勢自動車道 68km	伊勢I.C	伊勢二見鳥羽ライン R42 12km	

ミキモト真珠島

〒517-8511 三重県鳥羽市鳥羽1-7-1
TEL:0599-25-2028 / FAX:0599-25-2655



<http://www.mikimoto-pearl-museum.co.jp>

ミキモト真珠島

MIKIMOTO
PEARL ISLAND



豊かな自然につつまれ、おだやかな

ミキモト真珠島は、明治26 (1893) 年に御木本幸吉が
世界で初めて真珠の養殖に成功した島です。
昭和26 (1951) 年の開島以来、国内外から訪れる人々に
真珠の魅力をお伝えしています。



- WC トイレ
- 車イス対応トイレ
- 授乳室
- レストラン
- 喫茶
- ショップ
- インフォメーション
- スロープ
- エレベーター





真珠博物館

真珠のことがすべてわかる専門博物館。

歴史、美術、工芸、科学、産業など多角的な視点で真珠の魅力を探ります。

1F 今日、真珠はわたしたちの身近な宝石であるにもかかわらず、成因のメカニズムや具体的な養殖方法についてはあまり知られていません。真珠のできるしくみと養殖のすべて、真珠がもつ独特の色と光沢の秘密を、映像やパネル、数多くの標本などを通して、科学的にご紹介します。



そして、選び抜かれた真珠がさまざまな工程を経て、さらに輝きを増したネックレスへと生まれかわるまでを、実際に使用されている道具を手に取りながらご覧ください。



海女の実演

養殖真珠の発明は海女の存在なくしてはありえませんでした。ミキモト真珠島では、昔ながらの白い磯着に身をまといた海女たちが作業の実演をおこない、真珠養殖を支えてきたその姿を今に伝えています。



潜水作業

2F いにしえより、世界中の人々を魅了し続けてきた真珠。ここでは、パールジュエリーの歴史を天然真珠の時代と養殖真珠発明後の時代とに分けてご紹介します。ルネサンスと19世紀のヨーロッパを中心としたアンティークジュエリーや、ミキモト創成期から昭和初期にかけてのジュエリーなど、充実したコレクションとともに装身具の変遷を辿ります。なかでも、1937年のパリ万博に出品された帯留「矢車」は必見。



帯留「矢車」(昭和12年)



ノバリエール(19世紀・イギリス)
カタログ「真珠」
(明治41年～昭和13年)

昭和初期のジュエリー史を代表する逸品です。



レファレンス・図書コーナー

真珠や御木本幸吉、ジュエリーに関する専門書から小説にいたるまでのあらゆる資料があなたの疑問を解決してくれます。



天然真珠の時代

パールプラザ

1Fパールショップでは、ミキモトのパールジュエリーや真珠島だけのオリジナルジュエリーなどを多彩に取り揃えています。2Fレストラン「阿波幸」では、美しい鳥羽湾を眺めながら、名物「真珠うどん」をご賞味いただけます。



パールショップ



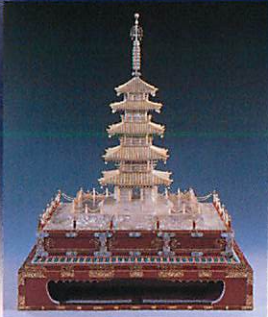
レストラン「阿波幸」



パールクラウン



自由の鐘



御木本五重塔

美術工芸品

養殖真珠をアピールするため、御木本幸吉は世界中の博覧会にむけて、真珠をふんだんに使用した美術工芸品を製作しました。日本の伝統技法とジュエリー製作技術の粋を集めた工芸品の数々をご堪能ください。



地球儀



幸吉秘蔵のネックレス「大将連」



幸吉の

御木本幸吉記



御木本幸吉(1858~1954)

真珠に人生のすべてを捧げ、決してやまなかった御木本幸吉に満ちた生涯には、続けたいゆえ夫人、あなご様とあわせて御木本幸吉に迫ります。

真珠に人生のすべてを捧げ、決してやまなかった御木本幸吉に満ちた生涯には、続けたいゆえ夫人、あなご様とあわせて御木本幸吉に迫ります。

島内散歩



御木本幸吉銅像

山高帽にマント、貞明皇后より賜った杖を持った真珠王。御木本幸吉の瞳はいまも、海の彼方を見つめています。

珠の宮

この島を見守り続けてきた鎮守様。縁結び・長寿などの御利益があると伝えられており、境内には心願成就の「願いの井戸」もあります。



野鳥の森

島の約1/4覆う自然林には、樹齢200年を越えるマツやシイなどが生い茂り、耳を澄ますと野鳥たちの優しい歌声が聞こえてきます。



見晴台

鳥羽湾に浮かぶ坂手島や答志島などの島々が望める小高い丘。行き交う船舶を眺めながら、くつろぎのひと時をお過ごしください。

遊歩道

夏には浜木綿が咲き誇る海岸沿いのプロムナード。海風が心地よい小径を抜けると、落ち着いた佇まいの和風庭園が広がります。